

「海星中学校の長浜波濤太鼓伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立海星中学校
2. 学年・人数	長浜地区生徒 9人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 2024年9月～11月 海星中学校体育館 (2) 発表の日時・場所 2024年11月2日 本校文化祭 海星中学校体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 長浜波濤太鼓（ながはまはとうだいこ） 長浜地区生徒 (2) 由来 昭和59年、地域興しの一環として、「新たな郷土芸能を」と青年層を中心に発足した。冬荒れ狂う海の壮絶さと、どこまでも青く澄んだ穏やかな海をイメージして作られた勇壮な太鼓である。 (3) 構成等 大太鼓、中太鼓、締太鼓で構成している。参加人数で構成が異なる。甑島の海の波の様子をイメージし、打ち方で表現している。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	伝統芸能の伝承については、各地域の保存会が中心となり、取り組んでいる。そのため、学校は教育活動に位置付けることはないが、各地域担当職員が保存会と連携し、伝承活動を積極的に支援している。また、生徒減少に伴い、保存会の方々や本校職員が参加し、文化祭や各地域の行事において披露している。 生徒は、文化祭等で披露することに憧れがあり、住んでいる地域の伝統芸能に高い関心をもっている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 文化祭での披露
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【生徒】 文化祭や地域の行事で披露することができてよかった。これからも伝統を受け継いで欲しいです。保存会の方々練習、指導等ありがとうございました。 【教職員】 本校の文化祭の特色である、各地域の伝統芸能披露が、職員も参加し地域ぐるみで披露することができ、生徒とともによい経験となった。今後も地域とともに伝統芸能を伝承し、甑島を盛り上げたい。 【保存会】 今年度は多くの郷土芸能が披露できよかった。今後は、生徒数減少に伴い、郷土芸能をどのようにして伝承していくかが課題です。子どもたちが、島立ちしても郷土を思う気持ちを忘れず、頑張ってもらいたい。